

あやめ



“新入生169名”を迎え、新年度のスタートです！

令和4年度の櫛形中学校「入学式」が4月7日（木）、体育館にて挙行されました。今年は本校卒業生が2年前に植樹したグラウンド西側斜面の桜の花びらが舞ったり、滝沢川の桜並木も一段と喜びに華を添えてくれていて、うれしい限りです。コロナ禍のご不便をお掛けする中ではありますが、春を感じさせる日差しのもと、保護者の皆様、来賓の方にご臨席いただくなか、担任の先生の「呼名」に元気よく返事をする新入生の姿が印象的でした。



上田校長先生から

「校訓である『高登彼岸』が意味する、高い理想に向かって、そこに登りつくよう一生懸命努力し、櫛形中学校での三年間で、自分自身を大きく成長させてほしいと願っています。・・・そこで、新入生の皆さんが中学校生活をスタートするにあたり、二つのことをお話ししたいと思います。

一つ目は、【自立】についてです。中学生になった皆さん、是非自分のことは自分出来るように心がけてください。大リーグで活躍している大谷選手も『自立を意識し取り組んだことで成長できた。』と言っています。

二つ目は、【負けに負けない心】についてです。『負けないことは立派、負けに負けないことはなお立派』これは私が好きな言葉で、剣道の達人の名言です。中学校生活では、自分の思い通りにいかないことも多くあると思います。でも、実はその時こそ一番成長する時なのです。思い通りにならないことや、失敗を乗り越えることで、負けに負けない心を身に付けてほしいと思います。

もう一度言います。【自立すること。】【負けに負けないこと。】このことを胸に刻み、一人一人が充実した中学生生活を過ごし、ここにいる先輩たちと協力し、皆さんの手で皆さんが誇りに思える櫛形中学校を創ってほしいと思います。」とお言葉をいただきました。

上級生を代表して中島穂乃花生徒会長は「一度しかない中学校生活を一緒に楽しみましょう。そして創立67年目の櫛形中学校を共に創り上げ、その歴史を刻めるように頑張りましょう。」と歓迎の心を伝えるなど、未知の生活を迎える新入生にとっては十分な励ましとなったことと思います。



また新入生代表の石川詠也さんの【誓いの言葉】も、「伝統ある櫛形中学校・・・

憧れていた新しい制服に袖を通し・・・これから始まる中学校生活の三年間が実り多きものとなるように、仲間とともに学び合いながら、一人ひとりが高い目標を持ち、その目標を実現できるように、自分の可能性を信じて、一日一日を悔いなく、大切に過ごしていきたい・・・」と、希望と決意を十二分に表現したものでした。全校生徒で気持ちを新たに、学習や部活動など、日々の学校生活を送るとともに、全校生徒の英知とパワーを集約し、櫛形中学校の新たな歴史を紡いでいくことを強く期待したいと思います。



気持ちも新たに！



「入学式」前日の6日（水）には、「新任式」および「始業式」が行われました。昨年度末に本校から多くの先生方が転退職されましたが、今回、赴任された14名の先生方をお迎えし、新たな顔ぶれで、伝統の中にも、新しい時代に新しい櫛形中を創造するべく、新学期が始まりました。

新任式・始業式の中で、上田新校長先生からは、自身の本校出身の先輩として歩んできた道に触れ、

- ①『中学生には無限の可能性があること』
⇒ 中学時代の3年間は子どもから大人へ変化する第一歩を踏み出す時期
- ②『上級生として、心を鍛え、行動で示すこと』
⇒ 憧れられる先輩
口ではなく背中では指導できる先輩であれ
- ③『「櫛中にかかわるすべての人が誇りに思える学校」を目指したい』
⇒ 誇りに思える学校とは、一人一人が充実した学校生活ができている学校であり、誰からも愛される学校

と全校生徒に丁寧に熱く語ってくれました。

そして「一生忘れることのできない思い出とは、何かに向かって本気で挑み、苦しさや達成感を実感することによってのみ作ることができる、自分自身の記憶の中に一生残り続ける思い出です。

今年、令和4年度、530名の全校生徒と52名の先生方が一丸となって、櫛中に関わる全ての人々が誇りに思える学校を目指し、一生忘れることのできない思い出を作りましょう。」と結びました。

また始業式では、新2年生からは飯嶋さん、新3年生からは山口さん、生徒会代表として小笠原さんから、今年度の抱負が発表されました。一人ひとりが、全校生徒にむけて抱負を語る様子から、うわべだけでない意識にしっかりと刻み付けたものであることが感じられ、上級生としての心構えも垣間見られ、非常に頼もしく見えました。



さらに式中、先生方の話や、仲間の発表にも眼を見開いて聴いたり、あいさつをする全校生徒の姿の中からも強い決意が伝わってきました。

保護者の皆様には、これから1年間、櫛形中学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力、またご支援をよろしくお願ひします。

☆登下校時の「生徒の送迎」についてのお願ひ

生徒の登下校時の送迎（完全下校時刻まで）は「市民体育館の駐車場」または「総合公園駐車場」（中央保育所西側）にてお願ひします。

新年度のスタートに当たり、保護者の皆様にお願ひいたします。

例年天候不順の際、登下校時に保護者の自家用車等による生徒の「送迎」の様子が見られます。

正門付近及び正門内、県道での自家用車からの乗り降りは、大変危険ですので、ご遠慮願ひます。

正門前の県道は登下校時の交通量が多く、1台の停車によって後続の車の車列ができます。雨天時等、視界も悪くなり、徒歩や自転車で登下校する生徒にとっても危険な状況が発生しています。また、登下校時は正門内（敷地内）に多くの生徒がいる時間帯で、危険なケースが考えられます。

実際に車と生徒が接触しそうなケースもありました。

ご迷惑をおかけしますが、「生徒の安全・安心」のため、ご理解とご協力をお願ひします。

なお、授業時間帯での遅刻（通院）・早退（病気、けが）の場合の送迎については、校地内へ乗り入れることは可能です。

《守ろう！自転車安全利用5則》

- ◆その1「自転車は車道が原則、歩道は例外」
- ◆その2「車道は左側を通行」
- ◆その3「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」
- ◆その4「安全ルールを守る」
- ◆その5「子どもはヘルメットを着用」

これらは、道路交通法規に抵触する行為も見られます。違反者には罰金刑等が課せられており、中には懲役刑の対象となるものもあります。

- 夜間のライト点灯
- 二人乗りは禁止
- 並進は禁止
- 信号を守る（左折時の信号無視）
- 交差点での一時停止と安全確認
- 傘を差しながらの運転や
- 運転中のスマホ、イヤホンの使用禁止

